



Cisco Unity Express 8.6 Web Inbox ユーザ ガイド

初回リリース : 2012 年 4 月 30 日

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報
につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあ
り、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますこと
をご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊
社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

免責条項：モニタリング、録音、または聴取デバイスを使用して、電話での通話または他の音声アクティビティを盗聴、モニタリング、検索、または録音することは、同時に転送を伴うか否かにかかわらず、特定の状況において連邦、州および地域の条例のもとで違法となる場合があります。通話のモニタリングまたは録音を実行する前に、弁護士から法律上の助言を得ておくことを推奨します。一部の法律では、通話をモニタリングまたは録音する前に、通知音を鳴らすなどの通知方法を使用する、通話の全当事者に同意を求める等、何らかの形で電話で通話するすべての当事者に通知することが義務付けられています。これらの法律では、厳格な処罰が課せられることがあります。法律により通話の録音中に定期的に通知音を鳴らすことが求められる場合、Cisco Unity Express ボイスメール システムでは、「通知音」を有効にするオプションを利用できます。Cisco Unity Express のライブ録音機能を有効にする前に、該当するすべての管轄下の法律をご確認ください。本条項は法律上の助言ではなく、法律上の助言に代わるものでもありません。この Cisco Unity Express 製品に付随する一般的な免責条項に加え、さらにシスコでは民事および刑事上のありとあらゆる責務を放棄し、この Cisco Unity Express 製品の無認可または不法な使用に対して責務を負いません。この責務に対する免責条項には、連邦、州および地域（またはいずれか）の該当条例に違反した電話での通話の無許可または不法な録音およびモニタリングを含みますが、必ずしもこれに限定されるわけではありません。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Unity Express Web Inbox ユーザガイド
© 2010-2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



CONTENTS

ボイス メールボックスの使用方法	3
受信トレイの表示	3
受信トレイの管理	4
新規メッセージの確認（受信トレイの更新）	4
新規メッセージの保存	4
メッセージの削除	4
ブロードキャスト ボイス メッセージの再生	5
期限切れメッセージの管理	5
NDR とマークされたメッセージの表示	5
DDR とマークされたメッセージの表示	5
セキュアとマークされたメッセージの表示	6
ボイス メッセージの管理	6
ボイス メッセージの再生	6
ボイス メッセージへの返信	6
ボイス メッセージの転送	7
新規ボイス メッセージの作成	8
FAX メッセージの管理	9
ファクス メッセージの表示および保存	9
ファクス メッセージの転送	9
ファクス メッセージの印刷	10
削除済みメッセージの表示	11
グリーティングの作成	13
個人用メール ボックスの [グリーティング（Greetings）] タブの表示または変更	14
グリーティングの録音	14
コンピュータの音声入力デバイスを使用したグリーティングの録音	15
オーディオ ファイルからのグリーティングのアップロード	15
メッセージ通知の設定	17
プライベート同報リスト	19
プライベート同報リストの追加	19
プライベート同報リストの表示または変更	20
プライベート同報リストの削除	20

発信者入力の設定 21

Cisco Unity Express 個人プロフィールの変更 23

個人プロフィールの変更 23

共用メールボックスのプロファイルの変更 24

音声名の録音 25

コンピュータの音声入力デバイスを使用した音声名の録音 25

オーディオ ファイルからの音声名のアップロード 25

INDEX



ボイス メールボックスの使用方法

メッセージは受信トレイに保存されます。メッセージの管理については、次の項を参照してください。

- [受信トレイの表示](#)
- [受信トレイの管理](#)
- [ボイス メッセージの管理](#)
- [FAX メッセージの管理](#)

受信トレイの表示

受信トレイ表示するには、この手順を使用します。

ステップ 1 [ボイスメールボックス (Voice Mailbox)] > [Inbox (受信トレイ)] を選択します。

受信トレイが表示されます。個人用メールボックスのタブと、登録されている各共用メールボックスのタブがあります。複数のメールボックスがある場合は、メールボックスのタブをクリックして、そのメールボックスのメッセージを表示します。

メールボックスに、次のカラムが表示されます。

- [QuickPlay] ボタン：音声メッセージを再生するか、または音声以外のメッセージを表示する場合にクリックします。
- メッセージのステータス (Message status)
 - 新しいメッセージは、閉じたエンベロープのアイコンで示されます。
 - 開封済みメッセージは、開いたエンベロープのアイコンで示されます。
- !: メッセージが送信者によって緊急としてマークされているかどうかを示します。
- [プライベート (Private)]: メッセージがプライベートとしてマークされているかどうかを示します。
プライベートとしてマークされたメッセージは転送したり、コンピュータに保存したりできません。
- [タイプ (Type)]: メッセージのタイプ。サポートされるメッセージタイプは次のとおりです。
 - 音声
 - ファクス (Fax)
 - 音声ファクス (録音されたボイス メッセージを伴うファクス メッセージ)
 - NDR (Non-Delivery Receipt)。 [NDR とマークされたメッセージの表示](#)を参照してください。

– DDR (Delayed Delivery Receipt)。NDR とマークされたメッセージの表示を参照してください。

- [差出人 (From)] : メッセージの送信者
- [受信日時 (Received)] : メッセージが受信された曜日、日付、時刻
- [サイズ (Size)] : ボイス メッセージの長さまたはファクス メッセージのファイル サイズ

1 ページあたりに表示するメッセージの数を選択するには、メールボックス タブの右上にあるプルダウンメニューを使用し、[実行 (GO)] をクリックします。

受信トレイの管理

この項では、受信トレイのメッセージを管理する方法について説明します。

- [新規メッセージの確認 \(受信トレイの更新\)](#)
- [新規メッセージの保存](#)
- [メッセージの削除](#)
- [ブロードキャスト ボイス メッセージの再生](#)
- [期限切れメッセージの管理](#)
- [NDR とマークされたメッセージの表示](#)
- [DDR とマークされたメッセージの表示](#)
- [セキュアとマークされたメッセージの表示](#)

新規メッセージの確認 (受信トレイの更新)

受信トレイを更新し、新しいメッセージを確認するには、[更新 (Refresh)] アイコンをクリックします。新しいメッセージが表示されます。

新規メッセージの保存

受信トレイの新規メッセージを保存するには、チェックボックスを使用して新しいメッセージを選択し、[保存 (Save)] アイコンをクリックします。エンベロップのアイコンが閉じたエンベロップから開いたエンベロップに変わります。

メッセージが保存されたら、メッセージを選択し、[新規にマーク付け (Mark New)] アイコンをクリックして、ステータスを新規に戻すことができます。

メッセージの削除

受信トレイ内のメッセージを削除するには、チェックボックスを使用してメッセージを選択し、[削除 (Delete)] アイコンをクリックします。メッセージは、削除済みメッセージ (Deleted Messages) フォルダに移動します。[削除済みメッセージの表示](#)を参照してください。

ブロードキャスト ボイス メッセージの再生

受信トレイにブロードキャストのボイス メッセージを受信できます。受信トレイにログインすると、ブロードキャストのボイス メッセージを受信されたことを示す通知を受信します。個人の受信トレイで作業を継続する前に、ブロードキャストのボイス メッセージを保存または削除する必要があります。

- ブロードキャストのボイス メッセージを再生するには、[ボイス メッセージの再生](#)の手順に従います。
- ボイス メッセージを保存するには、チェックボックスを使用してメッセージを選択し、[保存 (Save)] をクリックします。
- ボイス メッセージを削除するには、[メッセージの削除](#)の手順に従います。

期限切れメッセージの管理

受信トレイにログインしたときに、次のメッセージを受信する場合があります。

期限切れメッセージがあります。続行する前にそれらを保存するか、または削除してください

受信トレイにアクセスする前に、期限切れメッセージを保存または削除する必要があります。メッセージは、システム管理者によって設定された期間後に期限切れになります。デフォルトでは、メッセージは 30 日後に期限切れになります。詳細については、[ボイス メッセージの管理](#)および [FAX メッセージの管理](#)を参照してください。

セキュアとマークされたメッセージは、期限が切れると削除する必要があり、有効期限を越えて保存することはできません。

NDR とマークされたメッセージの表示

受信トレイのメッセージが NDR (Non-Delivery Receipt) とマークされている場合、メッセージは正常に送信されていません。

NDR メッセージを表示するには、[QuickPlay] ボタンをクリックします。

- NDR メッセージの詳細を表示するには、[詳細 (Details)] タブをクリックします。
- メッセージを転送するには、[転送 (Forward)] タブをクリックします。
- メッセージを再送するには、[Resend (再送)] タブをクリックします。

DDR とマークされたメッセージの表示

受信トレイのメッセージが DDR (Delayed Delivery Receipt) とマークされている場合、Cisco Unity Express はまだメッセージを送信しようとしていて、メッセージは 30 分間メッセージ キューにあります。

メッセージの詳細を表示するには [QuickPlay] ボタンをクリックします。レポートに、メッセージの件名とメッセージが送信された時間が表示されます。レポートに、元のメッセージの内容は表示されません。

セキュアとマークされたメッセージの表示

受信トレイのメッセージがセキュアとマークされている場合、ボイス メッセージを選択したときに次の注意が表示される場合があります。

「このメッセージはセキュアとマークされ、このセッションではアクセスできません。

https://<hostname>user で再ログインしてください。(This message is marked as secure and cannot be accessed in this session. Please re-login with https://<hostname>user.)」。メッセージにアクセスするには、セキュア HTTPS アドレスを使用してシステムにログインします。

ボイス メッセージとファクス メッセージの両方をセキュアとマークできます。

セキュアとマークされたメッセージは、期限が切れると削除する必要があり、有効期限を越えて保存することはできません。

ボイス メッセージの管理

ここでは、ボイス メッセージを管理する方法について説明します。

- [ボイス メッセージの再生](#)
- [ブロードキャスト ボイス メッセージの再生](#)
- [ボイス メッセージへの返信](#)
- [ボイス メッセージの転送](#)
- [新規ボイス メッセージの作成](#)


ボイス メッセージの再生

ボイス メッセージを再生するには、次の手順を使用します。

-
- ステップ 1** チェックボックスをクリックしてメッセージを選択します。
 - ステップ 2** ボイス メッセージの [QuickPlay] ボタンをクリックします。
メッセージ メニューが表示されます。メッセージの再生が自動的に開始します。メッセージの進捗は進捗スライダで示されます。
 - メッセージの再生を停止するには、[停止 (Stop)] ボタンを押します。
 - メッセージに再生を再開するには、[再生 (Play)] ボタンを押します。
 - メッセージの別の場所に移動するには、進捗スライダをスライドします。
 - メッセージ再生音量を調整するには、音量スライダをスライドします。
 - ステップ 3** コンピュータにボイス メッセージを保存するには、[ダウンロード (Download)] ボタンをクリックします。
-

ボイス メッセージへの返信

ボイス メッセージに返信するには、次の手順を使用します。

-
- ステップ 1** ボイス メッセージの [QuickPlay] ボタンをクリックします。
メッセージ メニューが表示されます。
- ステップ 2** [返信 (Reply)] タブをクリックします。
送信者の名前が自動的に表示されます。応答メッセージに他のユーザをコピーするには、送信者の名前の下のフィールドにユーザ名を入力します。
- ステップ 3** ボイス メッセージへの返信を録音するには、録音ボタンを押し、返信メッセージを記録します。コンピュータに返信のメッセージを保存するには、[ダウンロード (Download)] ボタンをクリックします。
- ステップ 4** メッセージ返信の属性を選択します。
- 緊急配信に対して、[緊急のマーク付け (Mark Urgent)] を選択します。
 - プライベート配信に対して [プライベートのマーク付け (Mark Private)] を選択します。
プライベートとマークされたメッセージは、他のユーザに転送したり、コンピュータに保存したりできません。
 - [将来の配信 (Future Delivery)] を選択し、メッセージの返信が送信される日付を指定します。
-  **(注)** セキュアとマークされたメッセージへの返信は、自動的にセキュアとマークされます。
-
- ステップ 5** [送信 (Send)] をクリックしてメッセージの返信を送信します。メッセージの返信をキャンセルするには [キャンセル (Cancel)] をクリックします。



(注) 元のメッセージは返信メッセージに含まれません。元の送信者に返信し、元のメッセージを含めるには、元のボイス メッセージを送信者に転送し、ボイス メッセージを含めます。[ボイス メッセージの転送](#)を参照してください。

ボイス メッセージの転送

ボイス メッセージを転送するには、次の手順を使用します。

-
- ステップ 1** ボイス メッセージの [QuickPlay] ボタンをクリックします。
メッセージ メニューが表示されます。
- ステップ 2** [転送 (Forward)] タブをクリックします。
- ステップ 3** 受信者を [宛先 : (To:)] フィールドに入力します。
- ステップ 4** 転送したボイス メッセージの初期ボイス メッセージを録音するには、録音ボタンを押し、ボイス メッセージを録音します。コンピュータに初期ボイス メッセージを保存するには、[ダウンロード (Download)] ボタンをクリックします。
- ステップ 5** 転送メッセージの属性を選択します。
- 緊急配信に対して、[緊急のマーク付け (Mark Urgent)] を選択します。
 - プライベート配信に対して [プライベートのマーク付け (Mark Private)] を選択します。
プライベートとマークされたメッセージは、他のユーザに転送できません。

- [将来の配信 (Future Delivery)] を選択し、メッセージが転送される日付を指定します。



(注) [転送 (Forward)] メニューでは、録音されたボイス メッセージのみ再生できます。転送される元のボイス メッセージを再生できません。元のボイス メッセージを再生するには、[キャンセル (Cancel)] をクリックして受信トレイに戻ります。

ステップ 6 [送信 (Send)] をクリックして転送ボイス メッセージを送信します。元のボイス メッセージの転送をキャンセルするには [キャンセル (Cancel)] をクリックします。

次の制約事項が適用されます。

- 送信者によってプライベートとマークされたボイス メッセージを受信した場合、そのメッセージは転送できません。
- 送信者によってセキュアとマークされたボイス メッセージを転送する場合は、転送メッセージは自動的にセキュアとマークされます。ボイス メッセージにアクセスするには、受信者はセキュア HTTPS セッションを使用してログインする必要があります。

新規ボイス メッセージの作成

新しいボイス メッセージを作成するには、次の手順を使用します。

ステップ 1 [作成 (Compose)] ボタンをクリックします。

[録音 (Record)] ウィンドウが開きます。

ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- メッセージを録音するには、[録音 (Record)] ボタンを押し、メッセージを録音します。メッセージの録音が完了したら、[停止 (Stop)] ボタンを押しします。
- ボイス メールの内容となるオーディオ ファイルをアップロードするには、[アップロード (Upload)] ボタンを押しします。

ステップ 3 メッセージの宛先を指定するには、[あて先 : (To:)] フィールドに名前を入力します。受信者は個人でも、メーリングリストでも指定できます。

虫メガネ アイコンをクリックし、受信者を検索することもできます。

ステップ 4 ボイス メッセージの属性を選択します。

- 緊急配信に対して、[緊急のマーク付け (Mark Urgent)] を選択します。
- プライベート配信に対して [プライベートのマーク付け (Mark Private)] を選択します。メッセージにプライベートとマークを付ける場合、受信者は他のユーザに転送できません。
- セキュアな配信に対して [セキュアのマーク付け (Mark Secure)] を選択します。

このオプションは、セキュア メッセージングがシステム管理者によって有効にされ、セキュア HTTPS セッションを使用してログインした場合にのみ使用できます。受信者は、セキュア HTTPS セッションを使用してログインした場合にのみ、セキュアとマークされたメッセージにアクセスできます。

- [将来の配信 (Future Delivery)] を選択し、メッセージが転送される日付を指定します。

- ステップ 5** [送信 (Send)] をクリックしてボイス メッセージを送信します。ボイス メッセージの送信をキャンセルするには、[キャンセル (Cancel)] をクリックします。
-

FAX メッセージの管理

ここでは、ファクス メッセージを管理する方法について説明します。

- [ファクス メッセージの表示および保存](#)
- [ファクス メッセージの転送](#)
- [ファクス メッセージの印刷](#)

ファクス メッセージの表示および保存

ファクス メッセージを表示および保存するには、この手順を使用します。

- ステップ 1** ファクス メッセージの [QuickPlay] ボタンをクリックします。
- ファクス メニューが表示され、ファクス ファイルの名前が表示されます。他の Cisco Unity Express サブスクライバが録音したボイス メッセージがファクス メッセージに添付されていた場合、メッセージ再生ウィンドウが表示されます。
- ボイス メッセージを聞くには、[再生 (Play)] ボタンを押します。
 - コンピュータにボイス メッセージを保存するには、[ダウンロード (Download)] ボタンを押します。
 - ファクスの送信者に応答するオーディオ ボイス メッセージを録音するには、[再生 (Play)] タブを押します。
- ステップ 2** ファクス メッセージを表示するには、[表示 (View)] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** ファクス メッセージを保存するには、[コンピュータに保存 (Save to Computer)] ボタンをクリックします。
- コンピュータにファクス メッセージを保存するためのダイアログ ボックスが表示されます。ファクス メッセージは、TIFF ファイルとして保存されます。
- ファクス メッセージを転送するには、[ファクス メッセージの転送](#)を参照してください。ファクス メッセージを印刷するには、[ファクス メッセージの印刷](#)を参照してください。

ファクス メッセージの転送

ファクス メッセージを転送するには、この手順を使用します。

- ステップ 1** ファクス メッセージの [QuickPlay] ボタンをクリックします。
- ファクス メニューが表示され、ファクス ファイルの名前が表示されます。他の Cisco Unity Express サブスクライバが録音したボイス メッセージがファクス メッセージに添付されていた場合、メッセージ再生ウィンドウが表示されます。
- ボイス メッセージを聞くには、[再生 (Play)] ボタンを押します。

- コンピュータにボイス メッセージを保存するには、[ダウンロード (Download)] ボタンを押します。
- ファクスの送信者に応答するオーディオ ボイス メッセージを録音するには、[再生 (Play)] タブを押します。

ステップ 2 ファクス メッセージを表示するには、[表示 (View)] ボタンをクリックします。

ステップ 3 ファクス メッセージを転送するには、[転送 (Forward)] タブをクリックします。

ファクス メッセージを転送するときに、ファクスに添付する音声コメントを録音できます。



(注) セキュアとマークされたファクス メッセージを転送する場合は、転送ファクス メッセージは自動的にセキュアとマークされます。ファクス メッセージにアクセスするには、受信者はセキュア HTTPS セッションを使用してログインする必要があります。

ステップ 4 転送メッセージの属性を選択します。

- 緊急配信に対して、[緊急のマーク付け (Mark Urgent)] を選択します。
- プライベート配信に対して [プライベートのマーク付け (Mark Private)] を選択します。
プライベートとマークされたメッセージは、他のユーザに転送できません。
- [将来の配信 (Future Delivery)] を選択し、メッセージが転送される日付を指定します。

ステップ 5 [送信 (Send)] をクリックしてファクス メッセージを転送します。

ファクス メッセージの印刷

ファクス メッセージを印刷するには、この手順を使用します。

ステップ 1 ファクス メッセージの [QuickPlay] ボタンをクリックします。

ファクス メニューが表示され、ファクス ファイルの名前が示されます。他の Cisco Unity Express サブスクライバが録音したボイス メッセージがファクス メッセージに添付されていた場合、メッセージ再生ウィンドウが表示されます。

- ボイス メッセージを聞くには、[再生 (Play)] ボタンを押します。
- コンピュータにボイス メッセージを保存するには、[ダウンロード (Download)] ボタンを押します。
- ファクスの送信者に応答するオーディオ ボイス メッセージを録音するには、[再生 (Play)] タブを押します。

ステップ 2 ファクス メッセージを表示するには、[表示 (View)] ボタンをクリックします。

ステップ 3 ファクス メッセージを印刷するには、[印刷 (Print)] タブをクリックします。

ファクスを印刷するダイアログ ボックスが表示されます。ファクス機がシステムで事前に設定されている場合、ファクス番号がプルダウン メニューに表示されます。ファクス番号を選択するか、フィールドにファクス番号を入力します。

ステップ 4 ファクス メッセージを印刷するには、[印刷 (Print)] を押します。



削除済みメッセージの表示

削除されたメッセージを表示するには、[ボイスメールボックス (Voice Mailbox)] > [削除済みメッセージ (Deleted Messages)] を選択します。[受信トレイ - 削除済みメッセージ (Inbox - Deleted Messages)] 画面に削除されたすべてのメッセージが表示されます。

- メッセージを復元して、個人の受信トレイに戻すには、[復元 (Undelete)] をクリックします。
- 削除済みメッセージのリストからメッセージをただちにパーズするには、[完全に削除 (Delete Permanently)] をクリックします。

完全に削除されたすべてのメッセージは回復できません。

削除済みメッセージ リスト内のすべてのメッセージは、システムからログアウトすると完全に削除されます。ログアウトする前に、保存するメッセージを必ず復元してください。



グリーティングの作成

グリーティングは、次の 3 つのカテゴリに分類されます。

- 標準グリーティング
- オプション グリーティング

このカテゴリには、次のタイプのグリーティングがあります。

- オプション (Alternate)
- 会議 (Meeting)
- 休暇 (Vacation)
- 長期欠勤 (Extended Absence)

- 状態ベースのグリーティング

このカテゴリには、次のタイプのグリーティングがあります。

- ビジー
- Closed
- 内線 (Internal)

デフォルトでは、標準グリーティングが有効になっていますが、オプション グリーティングまたは状態ベースのグリーティングのいずれも有効ではありません。標準グリーティングは常に有効になっていますが、オプション グリーティングのいずれかを有効にした場合は、そのタイプが標準グリーティングや状態ベースのグリーティングよりも優先されます。

状態ベースのグリーティングのいずれか、またはすべてを有効にできます。これらのグリーティングは、オプション グリーティングが有効になっていない場合に、次のような状況で再生されます。

- システムが通話中の場合は、通話中グリーティングが再生されます。通話中グリーティングが有効になっていると、他の状態ベースのグリーティングよりも優先されます。
- 営業時間外の間は、時間外グリーティングが再生されます。
- 内線番号からの通話の場合は、内線グリーティングが再生されます。

個人用メールボックスの [グリーティング (Greetings)] タブの表示または変更

個人用メールボックスの [グリーティング (Greetings)] タブを表示または変更するには、次の手順を使用します。

-
- ステップ 1** [グリーティング (Greetings)] タブを選択します。[マイ グリーティング (Greetings)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 次のいずれかのタイプのグリーティングを設定するには、グリーティングのリンクをクリックします。
- Standard
 - Closed
 - 内線 (Internal)
 - ビジー
 - オプション (Alternate)
 - 会議 (Meeting)
 - 休暇 (Vacation)
 - 長期欠勤 (Extended Absence)
- ステップ 3** グリーティングの状態を選択します。
- ディセーブル (Disabled)
 - 無期限に有効
 - 特定の日付と時刻まで有効
- ステップ 4** 次のグリーティングのソースのいずれかを選択します。
- システム デフォルト
 - パーソナル レコーディング ([グリーティングの録音参照](#))。
 - なし (Nothing) (これは空のグリーティングで、グリーティングを再生しない場合に選択できます)
- ステップ 5** 設定を保存するには、[適用 (Apply)] をクリックします。
-

グリーティングの録音

次のいずれかの手順を選択します。

- [コンピュータの音声入力デバイスを使用したグリーティングの録音](#)
- [オーディオファイルからのグリーティングのアップロード](#)

コンピュータの音声入力デバイスを使用したグリーティングの録音

コンピュータの音声入力デバイスを使用して音声を録音するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 グリーティングのタイプをクリックします。



(注) グリーティングがすでに録音されている場合は、[再生 (Play)] ボタンが有効になっていません。再録音する前に現在のグリーティングを確認できます。

ステップ 2 [録音 (Record)] ボタンを押します。

ステップ 3 コンピュータの音声入力デバイスにグリーティングを吹き込みます。

音量スライダーを使用して、コンピュータの音声入力デバイスの音量レベルを調整できます。

ステップ 4 グリーティングの録音が終了したら、[停止 (Stop)] ボタンをクリックします。

ステップ 5 グリーティングを再録音するには、もう一度 [録音 (Record)] ボタンを押し、録音を上書きする警告ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

ステップ 6 グリーティングの録音が完了したら、[再生 (Play)] を押してそれを聞きます。

ステップ 7 グリーティングに問題がない場合は、[適用 (Apply)] をクリックして設定を保存します。

オーディオ ファイルからのグリーティングのアップロード

オーディオ ファイルから音声をアップロードするには、次の手順を使用します。

ステップ 1 グリーティングのタイプをクリックします。

ステップ 2 [アップロード (Upload)] ボタンをクリックします。

アップロードするオーディオ ファイルを含むファイルを選択します。ファイルは、G.711 u-law 8 bit 8Khz mono 形式である必要があります。

ステップ 3 [OK] をクリックします。

ステップ 4 [再生 (Play)] を押してグリーティングを聞きます。

ステップ 5 グリーティングに問題がない場合は、[適用 (Apply)] をクリックして設定を保存します。



メッセージ通知の設定

メッセージを受信したときに、次のいずれかの通知デバイスに通知するように設定できます。

- 自宅の電話
- 職場の電話
- 携帯電話
- ポケットベル（数字用）
- 文字対応デバイス
- 電子メールの受信トレイ

特定の通知デバイスを設定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [通知デバイス (Notification Devices)] を選択し、[個人 (Personal)] タブまたは [共用メール ボックス (General Delivery Mailbox)] タブをクリックします。
- ステップ 2** [カスケード設定オプション (Cascading Settings)] を設定します。指定した分数後に選択した受信者に通知するようにカスケード設定を設定します。
- ステップ 3** [通知デバイス (Notification Device)] ウィンドウで、デバイス タイプをクリックします。
- ステップ 4** [このデバイスへの通知を有効にする (Enable notification to this device)] チェックボックスをオンします。
- ステップ 5** 次のフィールドにデータを入力します。表示されるフィールドは、選択したデバイス タイプによって異なります。
 - デバイスの電話番号 (Device phone number)
 - 追加の番号 (アクセス コードなど)
 - あて先 : (To:) (電子メール アドレス) : 通知を送信する電子メール アドレスを入力します。
 - 文字対応デバイスのテキストまたは電子メールのテキスト : 通知の送信時に文字対応デバイスまたは電子メールに表示するテキストを入力します。注 : 「? ,」などの特殊文字は使用できません。
 - 通知設定 (Notification preferences) : ドロップダウン メニューから次のいずれかを選択してください:
 - [緊急メッセージ (Urgent Messages)] : 送信者によって「緊急」とマークされたボイスメールメッセージに対してのみ通知が送信されます。
 - [すべてのメッセージ (All Messages)] : すべてのボイスメールメッセージに対して通知が送信されます。
- ステップ 6** [通知スケジュール (Notification Schedule)] の場合、日付と時刻の下にあるボックスをオンにします。

- [すばやく追加 (Quick Add)] を使用して、日付、開始時刻および終了時刻を選択します。プルダウンメニューから選択し、[追加 (Add)] をクリックします。
- [日のスケジュールをコピー (Copy Day's Schedule)] を選択して、既存の日のスケジュールを別の日にコピーします。日を選択し、[コピー (Copy)] をクリックします。

ステップ 7 [適用 (Apply)] をクリックして、データを保存します。



プライベート同報リスト

プライベート同報リストは、ボイスメールメッセージを同時に複数のユーザに送信するために使用されます。Cisco Unity Express では、ユーザ 1 人あたり最大 5 のプライベート同報リストと、1 人のユーザに属するすべてのプライベートリストに対して 50 人のメンバーをサポートしています。プライベート同報リストは自分で設定および管理します。

[ボイスメール同報リスト (Voice Mail Distribution Lists)] ウィンドウで、次の作業を実行します。

- [プライベート同報リストの追加](#)
- [プライベート同報リストの表示または変更](#)
- [プライベート同報リストの削除](#)

プライベート同報リストのリストを表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [プライベートリスト (Private Lists)] を選択します。[マイ プライベートリスト (My Private Lists)] ウィンドウが表示され、次のフィールドが表示されます。

- 名前: リスト名。
 - 番号: 同報リストの番号。この番号は、パブリック同報リストのリストで一意である必要があります。
 - 説明 (Description) (任意)
 - メンバー カウント
-

プライベート同報リストの追加

プライベート同報リストを追加するには、次の手順を実行します。同報リストは、ボイスメールメッセージを同時に複数のユーザに送信するために使用されます。

ステップ 1 [プライベートリスト (Private Lists)] を選択します。[マイ プライベートリスト (My Private Lists)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [追加 (Add)] をクリックします。

ステップ 3 次のフィールドに情報を入力します。

- 名前: リスト名。
- 番号: 同報リストの番号。この番号は、パブリック同報リストのリストで一意である必要があります。

- 説明 (Description) (任意)

ステップ 4 [追加 (Add)] をクリックします。

ステップ 5 同報リストにメンバーを追加するには、リストの名前をクリックします。

プライベート同報リストの表示または変更

プライベート同報リストを表示または変更するには、次の手順を使用します。

ステップ 1 [プライベート リスト (Private Lists)] を選択します。[マイ プライベート リスト (My Private Lists)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 リストの名前をクリックして、リストを表示または変更します。リストの詳細情報が表示されます。

ステップ 3 リストにメンバーを追加するには、[メンバー (Members)] タブをクリックします。

プライベート同報リストの削除

プライベート同報リストを削除するには、次の手順を実行します。



(注) 自分が所有するプライベート同報リストのみを削除できます。

ステップ 1 [プライベート リスト (Private Lists)] を選択します。[マイ プライベート リスト (My Private Lists)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 削除するリストの横にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 [削除 (Delete)] をクリックします。

ステップ 4 [OK] をクリックして確定します。



発信者入力の設定

メッセージを残す際の録音開始前に、発信者が押したキーに応答して通話フローを進める方法をカスタマイズします。各メールボックスごとに、発信者によるキー入力に次のいずれかのアクションの割り当てることができます。

- 別の番号への通話の転送 (Transfer the call to another number)
- オペレータへの接続 (Connect to the operator)
- 入力の無視 (Ignore the input)
- グリーティングの繰り返し (Repeat the greeting)
- 終了メッセージの再生
- グリーティングのスキップ (Skip the greeting)
- ユーザ サインインへの移行 (Proceed with subscriber sign-in)

これらのアクションは、0～9の数字、アスタリスク (*)、シャープ記号 (#) など、ユーザによる1桁の入力に対してだけ割り当てることができます。

個人用メールボックスまたは共用メールボックスの [発信者入力 (Caller Input)] タブを表示または変更するには、次の手順を使用します。

-
- ステップ 1** Choose [設定 (Preferences)] > [発信者入力 (Caller Input)] を選択します。[発信者入力 (Caller Input)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 発信者による可能な入力、つまり 0～9 の数字、アスタリスク (*)、シャープ記号 (#) など、のそれぞれに対して次のいずれかのアクションを選択します。
- 別の番号への通話の転送 (Transfer the call to another number)
 - オペレータへの接続 (Connect to the operator)
 - 入力の無視 (Ignore the input)
 - グリーティングの繰り返し (Repeat the greeting)
 - 終了メッセージの再生
 - グリーティングのスキップ (Skip the greeting)
 - ユーザ サインインへの移行 (Proceed with subscriber sign-in)
- ステップ 3** 設定を保存するには、[適用 (Apply)] をクリックします。
-



Cisco Unity Express 個人プロフィールの変更

Cisco Unity Express の各ボイスメール ユーザには、個人プロフィールがあります。共用メールボックスに登録している場合は、そのメールボックスに関連付けられているプロフィールもあります。

Cisco Unity Express のユーザ ウィンドウで次のタスクの実行します。

- [個人プロフィールの変更](#)
- [共用メールボックスのプロフィールの変更](#)
- [音声名の録音](#)

個人プロフィールの変更

Cisco Unity Express の個人プロフィールを表示および変更するには、次の手順を使用します。


ステップ 1 プロフィールを表示するには、[設定 (Preferences)] > [個人 (Personal)] をクリックします。[個人 (Personal)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 個人プロフィールのタブをクリックします。

個人プロフィール ウィンドウに次のフィールドが表示されます。

- ユーザ ID (User ID)
- 名と姓 (First name and last name)
- ニックネーム (Nickname)
- 表示名 (Display name)
- プライマリ内線 (Primary extension)
- プライマリ E.164 番号 (Primary E.164 number)
- FAX 番号 (Fax number)
- 音声名 (Spoken Name)
- 言語 (Language)
- パスワード (Password)
- パスワードの確認 (Confirm password) : 確認のためにパスワードを再入力します。
- PIN (Personal identification number (PIN))
- PIN の確認 (Confirm PIN) : 確認のために PIN を再入力します。

■ 共用メールボックスのプロファイルの変更

- ステップ 3** 表示名を変更するには、[表示名 (Display Name)] フィールドに新しい表示名を入力します。
[表示名 (Display Name)] は、Cisco Unity Express アプリケーション内でのユーザ名の表示方法です。
- ステップ 4** 音声名を変更するには、[音声名の録音](#)を参照してください。
- ステップ 5** システム言語を変更するには、言語プルダウンメニューを選択し、優先言語を選択します。
-  **(注)** 言語オプションは管理設定によって事前に決められている場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
-
- ステップ 6** Cisco Unity Express ボイスメール パスワードを作成または変更するには、[パスワード (Password)] フィールドにパスワードを入力します。
パスワードは、Cisco Unity Express ユーザ GUI にアクセスするために使用されます。Cisco Unity Express のパスワードは文字と数字から構成され、その長さは 3 文字以上で、32 文字以下です。
- ステップ 7** パスワードを確認するには、[パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドにパスワードを再入力します。
- ステップ 8** Cisco Unity Express ボイスメールの PIN を作成または変更するには、[PIN] フィールドに PIN を入力します。
PIN は、電話で Cisco Unity Express ボイスメールにアクセスするために使用されます。PIN は数字のみで構成され、3 桁以上、16 桁以下です。アスタリスク (*) またはポンド記号 (#) は使用しないでください。
ユーザは、ボイスメールに最初にダイヤルしたときに PIN の初期値を変更します。
- ステップ 9** PIN を確認するには、[PIN の確認 (Confirm PIN)] フィールドに PIN を再入力します。
- ステップ 10** [適用 (Apply)] をクリックします。

共用メールボックスのプロファイルの変更

共用メールボックスのプロファイルを表示および変更するには、次の手順を使用します。

- ステップ 1** プロファイルを表示するには、[設定 (Preferences)] > [個人 (Personal)] をクリックします。[個人 (Personal)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 共用メールボックスのタブをクリックします。
共用メールボックスのプロファイル ウィンドウに次のフィールドが表示されます。
- ユーザ ID (User ID)
 - 表示名 (Display name)
 - プライマリ内線 (Primary extension)
 - プライマリ E.164 番号 (Primary E.164 number)
 - FAX 番号 (Fax number)
 - 音声名 (Spoken Name)
- ステップ 3** 表示名を変更するには、[表示名 (Display Name)] フィールドに新しい表示名を入力します。
[表示名 (Display Name)] は、Cisco Unity Express アプリケーション内でのユーザ名の表示方法です。

ステップ 4 音声名を変更するには、[音声名の録音](#)を参照してください。

ステップ 5 [適用 (Apply)] をクリックします。

音声名の録音

音声名とは、他のユーザがボイス メールボックスにメッセージを残したときに聞く名前の中で、グリーディングは録音されません。

次のいずれかの手順を選択します。

- [コンピュータの音声入力デバイスを使用した音声名の録音](#)
- [オーディオ ファイルからの音声名のアップロード](#)

コンピュータの音声入力デバイスを使用した音声名の録音

コンピュータの音声入力デバイスを使用して音声名を録音するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 プロファイルを表示するには、[設定 (Preferences)] > [個人 (Personal)] をクリックします。

ステップ 2 個人プロフィールまたはサブスクリプションされた共有メールボックスのタブをクリックします。[個人 (Personal)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [録音 (Record)] ボタンを押します。



(注) 音声名がすでにされている場合は、[再生 (Play)] ボタンが有効になっています。再録音する前に現在の音声名の録音を確認できます。

ステップ 4 コンピュータの音声入力デバイスに音声名を吹き込みます。

音量スライダーを使用して、コンピュータの音声入力デバイスの音量レベルを調整できます。

ステップ 5 音声名の録音が終了したら、[停止 (Stop)] ボタンをクリックします。

ステップ 6 音声名を再録音するには、再度 [録音 (Record)] ボタンを押し、録音を上書きする警告ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

ステップ 7 音声名の録音を完了すると、[再生 (Play)] を押してその音声名を聞きます。

ステップ 8 音声名に問題がない場合は、[適用 (Apply)] をクリックします。

オーディオ ファイルからの音声名のアップロード

オーディオ ファイルから音声名をアップロードするには、次の手順を使用します。

ステップ 1 プロファイルを表示するには、[設定 (Preferences)] > [個人 (Personal)] をクリックします。

ステップ 2 個人プロフィールまたはサブスクリプションされた共有メールボックスのタブをクリックします。[個人 (Personal)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [アップロード (Upload)] ボタンをクリックします。

■ 音声名の録音

アップロードするオーディオ ファイルを含むファイルを選択します。ファイルは、G.711 u-law 8 bit 8Khz mono 形式である必要があります。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

ステップ 5 [再生 (Play)] を押して音声名を聞きます。

ステップ 6 音声名に問題がない場合は、[適用 (Apply)] をクリックします。



INDEX

D

DDR (Delayed Delivery Receipt) メッセージ **5**

N

NDR (Non-Delivery Receipt) メッセージ **5**

お

オーディオ ファイルからの音声名の録音 **25**

オーディオ ファイルからのグリーティングのアップロード **15**

音声入力デバイスを使用した音声名の録音 **25**

音声入力デバイスを使用したグリーティングの録音 **15**

音声名 **25**

オーディオ ファイルからの録音 **25**

音声入力デバイスを使用した録音 **25**

き

期限切れメッセージ **5**

共用メール ボックスのプロファイル **24**

共用メール ボックスのプロファイルの変更 **24**

く

グリーティング **13**

オーディオ ファイルからのアップロード **15**

音声入力デバイスを使用した録音 **15**

グリーティング タブの表示 **14**

こ

個人プロフィール

変更 **23**

個人プロフィールの変更 **23**

さ

削除済みメッセージ **11**

削除済みメッセージの表示 **11**

し

受信トレイ

DDR (Delayed Delivery Receipt) メッセージ **5**

NDR (Non-Delivery Receipt) メッセージ **5**

新しいボイス メッセージの作成 **8**

管理

受信トレイの管理 **4**

期限切れメッセージ **5**

削除済みメッセージ **11**

新規メッセージの確認 **4**

新規メッセージの保存 **4**

セキュアとマークされたメッセージ **6**

表示 **3**

ファクス メッセージの印刷 **10**

ファクス メッセージの転送 **9**

ファクス メッセージの表示および保存 **9**

ボイス メッセージの再生 **6**

ボイス メッセージの転送 **7**

ボイス メッセージのブロードキャスト **5**

ボイス メッセージへの返信 **6**

メッセージの削除 **4**

受信トレイの更新 [4](#)

受信トレイの表示 [3](#)

新規メッセージの確認 [4](#)

新規メッセージの保存 [4](#)

せ

セキュアとマークされたメッセージ [6](#)

セキュア メッセージ [6](#)

つ

通知デバイス、設定 [17](#)

と

同報リスト [19](#)

削除 [20](#)

追加 [19](#)

表示または変更 [20](#)

ふ

ファクス メッセージ

印刷 [10](#)

転送 [9](#)

表示および保存 [9](#)

プライベート同報リスト [19](#)

削除 [20](#)

追加 [19](#)

表示または変更 [20](#)

プライベート同報リストの追加 [19](#)

ほ

ボイス メッセージ

再生 [6](#)

作成 [8](#)

転送 [7](#)

返信 [6](#)

ボイス メッセージのブロードキャスト [5](#)

め

メッセージの削除 [4](#)

メッセージング通知、設定 [17](#)

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>